

Autodesk® Simulation Moldflow® CAD Doctor 2013

インストレーションガイド

The Autodesk logo is displayed vertically in white text on a black rectangular background. The word "Autodesk" is written in its characteristic sans-serif font, with the registered trademark symbol (®) at the top right.

577E1-307167-3717E

リビジョン 4, 2012 年 3 月 13 日.

Autodesk® Simulation Moldflow® CAD Doctor

© 2012 Autodesk, Inc. All rights reserved. Autodesk, Inc.社の許諾を得ることなく、本ドキュメントのいかなる部分といえども、その目的を問わず、いかなる形式または手段でも複製することは禁じられています。

本ドキュメントに記載される特定のマテリアルは、著作権所有者の許諾を得た場合に限り、再版されます。

商標

123D、3ds Max、Algor、Alias、Alias (swirl design/logo)、AliasStudio、ATC、AUGI、AutoCAD、AutoCAD Learning Assistance、AutoCAD LT、AutoCAD Simulator、AutoCAD SQL Extension、AutoCAD SQL Interface、Autodesk、Autodesk Homestyler、Autodesk Intent、Autodesk Inventor、Autodesk MapGuide、Autodesk Streamline、AutoLISP、AutoSketch、AutoSnap、AutoTrack、Backburner、Backdraft、Beast、Beast (design/logo) Built with ObjectARX (design/logo)、Burn、Buzzsaw、CAiCE、CFdesign、Civil 3D、Cleaner、Cleaner Central、ClearScale、Colour Warper、Combustion、Communication Specification、Constructware、Content Explorer、Creative Bridge、Dancing Baby (image)、DesignCenter、Design Doctor、Designer's Toolkit、DesignKids、DesignProf、DesignServer、DesignStudio、Design Web Format、Discreet、DWF、DWG、DWG (design/logo)、DWG Extreme、DWG TrueConvert、DWG TrueView、DWFx、DXF、Ecotect、Evolver、Exposure、Extending the Design Team、Face Robot、FBX、Fempro、Fire、Flame、Flare、Flint、FMDesktop、Freewheel、GDX Driver、Green Building Studio、Heads-up Design、Heidi、Homestyler、HumanIK、IDEA Server、i-drop、Illuminate Labs AB (design/logo)、ImageModeler、iMOUT、Incinerator、Inferno、Instructables、Instructables (stylized robot design/logo)、Inventor、Inventor LT、Kynapse、Kynogon、LandXplorer、LiquidLight、LiquidLight (design/logo)、Lustre、MatchMover、Maya、Mechanical Desktop、Moldflow、Moldflow Plastics Advisers、Moldflow Plastics Insight、Moldflow Plastics Xpert、Moondust、MotionBuilder、Movimento、MPA、MPA (design/logo)、MPI、MPI (design/logo)、MPX、MPX (design/logo)、Mudbox、Multi-Master Editing、Navisworks、ObjectARX、ObjectDBX、Opticore、Pipeplus、Pixlr、Pixlr-o-matic、PolarSnap、PortfolioWall、Powered with Autodesk Technology、Productstream、ProMaterials、RasterDWG、RealDWG、Real-time Roto、Recognize、Render Queue、Retimer、Reveal、Revit、RiverCAD、Robot、Scaleform、Scaleform Gfx、Showcase、Show Me、ShowMotion、SketchBook、Smoke、Softimage、Softimage|XSI (design/logo)、Sparks、SteeringWheels、Stitcher、Stone、StormNET、Tinkerbox、ToolClip、Topobase、Toxik、TrustedDWG、T-Splines、U-Vis、ViewCube、Visual、Visual LISP、Voice Reality、Volo、Vtour、WaterNetworks、Wire、Wiretap、WiretapCentral、および XSI は、Autodesk Inc.社および/またはその子会社および/または関連会社の、米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。

その他すべての商標名、製品名、商標は各所有者の資産です。

免責事項

本ドキュメントおよび記載される情報は AUTODESK, INC. 社により、「現状のまま」で提供されるものとします。AUTODESK, INC. 社は、明示、黙示を問わず、特に所有権の非侵害、商品性又は特定目的への適合性についての黙示的保証を含め、その他本ドキュメントおよび記載される情報に対する一切の保証をいたしません。

目次

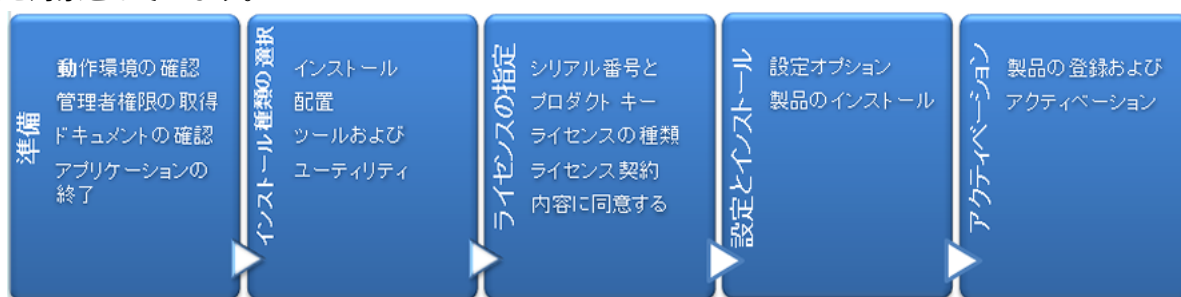
第 1 章：	概要	1
	同じマシン上にあるライセンス サーバーとクライアント.....	1
	インストールの準備.....	2
	インストールの種類を選択する.....	2
	ライセンスを指定する.....	3
	環境設定とインストール.....	4
	製品のアクティベーションを行う.....	4
	配置を作成する.....	5
	製品をアンインストールする.....	6
第 2 章：	よくある質問と回答	7
	プロダクト キーとシリアル番号はどこで確認できますか?.....	7
	シリアル番号またはプロダクト キーを紛失した場合はどうすればいいですか?.....	7
	なぜ製品のインストール後にアクティベーションが必要なのですか?.....	7
	スタンドアロン ライセンスとネットワーク ライセンスの違いは何ですか?.....	7
	すべての製品のインストールで、同一のライセンス サーバを指定する必要がありますか?.....	8

ライセンスをスタンドアロンからネットワークに、またはネットワークからスタンドアロンに切り替えるにはどうしたらいいですか?.....	8
インストール場所を変更したい場合はどうしたらいいですか?.....	8
すべてのインストール可能な製品を同時にインストールする必要がありますか?....	9
製品をそれぞれ異なる場所にインストールできますか?.....	9
インストール後、製品の環境設定、修復、またはアンインストールするにはどうしたらいいですか?.....	9
ライセンスにアクセスできないのはなぜですか?.....	10
Autodesk Material Library について.....	10

概要

1

次の図は、インストール プロセスの主な作業フローを示したものです。すべての製品でこれらの作業がすべて必要とは限りません。このガイドは、Autodesk Simulation Moldflow 2013 バージョンのみの利用を対象としています。



以下のセクションでは、それぞれの作業の詳細を説明します。

同じマシン上にあるライセンス サーバーとクライアント

Windows 7 マシンにインストールする場合、ライセンス サーバーとクライアントが同じマシン上にあると、ライセンスがアクセスできない場合があります。

解決策

この問題が発生した場合、2 つのファイルを修正する必要があります。

- **licpath.lic** (通常、**C:\Program Files\Autodesk\製品名** にあります) をテキスト エディタで開き、次のテキストを変更する。

```
SERVER localhost 000000000000  
USE_SERVER  
USE_SERVER
```

を

```
SERVER 127.0.0.1 000000000000  
USE_SERVER  
USE_SERVER
```

- **C:\Windows\System32\drivers\etc\hosts** に移動し、**127.0.0.1 localhost** を追加またはコメント解除。

インストールの準備

インストールを開始する前に、次の事項を確認します。

- ご使用のコンピュータが最低限の動作環境を満たしていること確認してください。詳細は、インストーラ ウィンドウの下部にある[\[動作環境\]](#)をクリックしてください。
- インストールの種類(スタンドアロンまたはネットワーク)やインストールする製品の選択などの詳細は、製品のドキュメントを参照してください。ドキュメントは、インストーラの左下隅のリンクからアクセスできます。

インストレーション ヘルプ | [動作環境](#) | [Readme](#)

- ご使用のユーザ名に、コンピュータまたはネットワークにアプリケーションをインストールする管理者権限があることを確認します。
- インストール対象のすべての製品のシリアル番号とプロダクト キーを取得します。これらは製品パッケージ上に記載されています。
- 実行中のプログラムをすべて終了します。

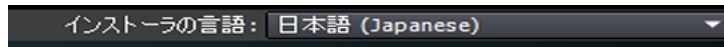
インストールの種類を選択する

ここでは、適切なインストール方法を選択するための基本的な説明をします。ネットワーク管理者ではない場合は、[\[インストール\]](#)をクリックします。

- [\[インストール\]](#)は個人ユーザや少人数のグループに適しています。重要な点は、各コンピュータでこのインストール作業を繰り返す必要があることです。これは、スタンドアロンライセンスで選択できる唯一のインストールの種類です。しかし、マルチ シート スタンドアロン ライセンスまたはネットワーク ライセンスでも使用できます。
- [\[配置を作成\]](#)は、ネットワーク管理者に適しています。配置の作成処理では、インストールは 1 度だけ環境設定され、ネットワーク上に保存されます。その後、ユーザのコンピュータに効率的に配布されます。
配置の詳細は、「[配置を作成する 5 ページ](#)」または『ネットワーク管理者用ガイド』を参照してください。
- [\[ツールとユーティリティ\]](#)は、製品に関連するツールやユーティリティをインストールするために使用します。オートデスク製品のネットワークライセンスを所有している場合、ユーザが製品を実行できるようにするには、このオプションを使用して Network License Manager をインストールする必要があります。利用可能なツールやユーティリティを確認には、ご使用の製品のドキュメントを参照してください。

インストーラの言語を選択する

一部のオートデスク製品のインストーラの最初の画面では、インストーラ画面で使用する言語を選択できます。画面の右上にあるコントロールを使用します。



インストール作業の後半で、インストールする製品の言語を選択できる場合があります。詳細に関しては「[製品言語を変更する](#)」を参照してください。

ライセンスを指定する

ここでは、ライセンスの概要を説明します。詳細は、ご使用の製品の『[ライセンス ガイド](#)』を参照してください。

ライセンスのタイプ

ほとんどのオートデスク製品は、30日間試用版としてインストールして製品を評価することができます。ライセンスを購入すると、特定のユーザ数に対して、スタンドアロンまたはネットワーク ライセンスとして環境設定されます。これらのライセンスのタイプを、以下に簡単に説明します。

- **スタンドアロン ライセンス**は、1人のユーザの使用を目的としています。使用許諾された製品は2台のコンピュータにインストール可能ですが、2台のコンピュータの製品を同時に稼動することはできません。
- **ネットワーク ライセンス**は、ネットワークに接続している指定された数のユーザをサポートします。ユーザへのライセンス配布を管理するには、Autodesk Network License Manager を1台または複数台のサーバにインストールします。

ネットワーク ライセンス サーバ モデル

ネットワーク ライセンスを使用している場合、ライセンスの購入時に指定した Network License Manager のサーバ環境設定を選択します。

■ シングル ライセンス サーバ

1台のサーバで、ネットワーク上のすべてのライセンスを管理します。

■ 分散ライセンス サーバ

ライセンスは、ネットワーク内の複数台のサーバのプールに分散されます。プール内のそれぞれのサーバの名前を入力します。

■ 冗長ライセンス サーバ

3台のサーバがそれぞれのライセンスを認証できます。3台のサーバの名前を入力します。

環境設定とインストール

インストールパス

このパスは、製品のインストール場所を指定します。インストールパスを変更する場合は、[参照...]ボタンをクリックします。

注: 他の製品と依存関係がある製品の場合、インストールパスは最初にインストールした製品のインストールパスが設定されます。

環境設定

ほとんどの製品には、いくつかの環境設定があります。[インストール] > [インストールの環境設定] ページには、次のような三角形のコントロールが表示され、インストールするために選択した製品の環境設定パネルにアクセスできます。



製品ボックス内の任意の場所をクリックして、環境設定パネルを開きます。多くの製品ではインストールの種類を選択でき、既定の環境設定を受け入れる[標準]、または、設定の確認および変更ができる[カスタム]のいずれかを選択できます。製品の環境設定に関する詳細は、このガイドの付録を参照してください。必要な設定が完了したら、三角形をクリックして環境設定パネルを閉じます。

製品のアクティベーションを行う

スタンドアロン ライセンスのオートデスク製品の初回実行時に、製品のアクティベーションを要求されます。インターネットに接続している場合、ご使用のコンピュータとオートデスクが直接通信してアクティベーション 処理を完了します。

ご使用のコンピュータがインターネットに接続していない場合は、後で接続した時にアクティベーションを実行できます。いくつかの製品では、シリアル番号、リクエストコード、登録データをオートデスクに Web または E メールを介して送信することで、オフラインでアクティベーションを行うことができます。詳細は『Autodesk ライセンス ガイド』を参照してください。

ネットワーク ライセンスのオートデスク製品の場合、製品のシリアル番号とライセンスサーバの情報を利用して、オートデスク Web サイト <https://registeronce.autodesk.com> からライセンスを入手しライセンスサー

バで入手したライセンスを設定します。詳細は『Autodesk ライセンスガイド』(注意: このガイドは他の全ての Autodesk 製品のライセンスに関して記載されているため、一部 Autodesk Simulation Moldflow では対応できない機能や環境の説明が含まれます) を参照してください。

配置を作成する

管理イメージ

管理イメージは、配置の作成処理で作成されるカスタマイズされたインストールファイルのセットです。各コンピュータに、プログラムの一貫した環境設定をインストールするために使用します。その他の設定は次の通りです。

- **管理イメージのパス:** ネットワーク上の共有の場所で、フルコントロールの許可がある場所を指定します。プログラムをインストールするために、ユーザはこの場所にアクセスします。
- **プラットフォームの種類:** 配置を使用するコンピュータのオペレーティングシステムに応じて、32 ビットまたは 64 ビットのいずれかを選択します。
- **この配置環境設定に必要な製品のみを含める:** これを選択した場合、将来、製品を追加するために配置を修正することができなくなります。これを選択しない場合、管理イメージには利用可能な製品がすべて含まれ、将来、任意の方法で配置を修正することができます。

インストール設定

- **サイレントモード**は、ユーザ入力なしに、インストールをバックグラウンドで実行します。

重要: サイレントモードでは、インストール完了時に警告は表示されずに、ユーザのコンピュータは自動的に再起動されます。

- **ログ ファイル**には、各コンピュータのインストール データが記録されます。
- **ネットワーク ログ ファイル**は、配置を実行したすべてのコンピュータのインストール データの主要な記録を保持します。これは、作成する配置と同じ名前で、ユーザが変更許可を持っている共有フォルダに置く必要があります。これにより、ユーザのコンピュータはログ ファイルへ書き込みが可能となります。

製品をアンインストールする

アンインストール機能を使用して、Windowsベースのコンピュータからこの製品を削除できます。

この製品を新しいバージョンにアップグレードする場合や、環境設定を変更する場合は、この製品をご使用のコンピュータから削除する必要があります。

- Windows スタート メニューから[コントロール パネル]を開きます。
- プログラムの一覧から関連する製品を選択し、Windows 7 では[アンインストールと変更]を、Windows XP では[プログラムの追加と削除]をクリックします。
- [アンインストール]を選択して確認した後、[アンインストール]を再度クリックします。

よくある質問と回答

2

次のトピック以外の質問に関しては、www.autodesk.co.jp/support を参照してください。

プロダクトキーとシリアル番号はどこで確認できますか？

プロダクト キーとシリアル番号は製品パッケージの外側に記載されています。

シリアル番号またはプロダクト キーを紛失した場合はどうすればいいですか？

製品パッケージまたは購入記録がある場合は、これらを確認してください。または、オートデスク カスタマー サービス (<http://www.autodesk.co.jp/contactus>) までお問い合わせください。

なぜ製品のインストール後にアクティベーションが必要なのですか？

アクティベーションにより、ライセンス所有者とオートデスクは、オートデスク製品が適格なコンピュータにインストールされていることを確認できます。アクティベーションにより、ライセンス セキュリティおよび管理が向上します。

スタンドアロン ライセンスとネットワーク ライセンスの違いは何ですか？

スタンドアロン ライセンスは、個々のワーク ステーションに対して登録されます。一方、ネットワーク ライセンスは、Network License Manager を使用してソフトウェア ライセンスを管理します。

スタンドアロン ライセンス製品は、個々のワーク ステーションに対して登録およびアクティベーションを行います。組織内の複数のシステムにソフトウェアをインストールできますが、操作する 1 台のシステムでのみライセンスが有効になります。複数のシステムで実行するには、スタンドアロン ライセンス製品を複数購入するか、ネットワーク ライセンスへの切り替えを検討してください。

ネットワーク ライセンス製品は、Network License Manager を使用してソフトウェア ライセンスを管理します。ソフトウェアは、購入したライセンスの最大数まで、複数のシステムにインストールして実行できます。Network License Manager は、ライセンスがすべて使用状態になるまで貸し出します。それ以上のシステムでは、ライセンスが返却されるまで、プログラムを実行できません。

すべての製品のインストールで、同一のライセンスサーバを指定する必要がありますか？

異なる製品を別々のインストーラからインストールした場合にのみ、異なるサーバを使用することが可能です。この場合、異なるライセンス サーバはすべて同一のネットワーク上にあり、必要なライセンス権限を有する必要があります。

ライセンスをスタンドアロンからネットワークに、またはネットワークからスタンドアロンに切り替えるにはどうしたらいいですか？

単に間違ったライセンスのタイプを選択し、まだインストーラを実行している場合は、[戻る]ボタンを使用して[製品情報]ダイアログボックスに戻り、ライセンスのタイプを変更します。

インストールした製品のライセンスのタイプを変更したい場合は、オートデスク認定リセラーまたはライセンス サプライヤーに問い合わせ、新しいライセンスと新しいシリアル番号を入手します。次に、製品をアンインストールして新しくインストールを実行し、ライセンスのタイプを変更して新しいシリアル番号を入力します。

インストール場所を変更したい場合はどうしたらいいですか？

インストール時インストール パスを、コンピュータ上の別の有効なドライブまたはフォルダに変更することで実行できます。これにより、オートデスク ツール、ユーティリティ、およびサービス パックがこのインストール場所を認識できるようになります。

すべてのインストール可能な製品を同時にインストールする必要がありますか？

多くのインストーラの[インストールの環境設定]ページには、インストール可能な製品の一覧が表示されます。必要に応じてインストールする製品を選択できます。他のオートデスク製品を既にインストールしている場合は、これらのオプションのいくつかは、インストール済みである可能性があります。

すべての製品をインストールしない場合は、後でインストーラを再起動してこれらをインストールすることもできます。

注: インストーラを再起動するには、ライセンス情報が必要となります。

製品をそれぞれ異なる場所にインストールできますか？

同時にインストールされる製品はすべて、[インストールの環境設定]ページの下部に表示される**インストール パス**にインストールされます。

製品をそれぞれ異なる場所にインストールしたい場合は、製品を個別にインストールして、それぞれインストール パスを変更する必要があります。

注: 関連する製品として、同一のパスへのインストールが必要な製品もあります。この場合、インストール パスが以前のインストールで設定済みであることを伝える警告が表示されます。

インストール後、製品の環境設定、修復、またはアンインストールするにはどうしたらいいですか？

- Windows スタート メニューから[コントロール パネル]を開きます。
- Windows 7 では[プログラムと機能]を選択し、プログラムの一覧から関連する製品を選択し、[アンインストールと変更]をクリックします。
Windows XP では[プログラムの追加と削除]を選択し、プログラムの一覧から関連する製品を選択し、[削除]をクリックします。

インストーラが「メンテナンス モード」で開き、その手順に沿って操作します。

ライセンスにアクセスできないのはなぜですか？

Windows 7 マシンにインストールする場合、ライセンス サーバーとクライアントが同じマシン上にあると、ライセンスがアクセスできない場合があります。

解決策

この問題が発生した場合、2 つのファイルを修正する必要があります。

- **licpath.lic** (通常、**C:\Program Files\Autodesk\製品名** にあります) をテキスト エディタで開き、次のテキストを変更する。

```
SERVER localhost 000000000000  
USE_SERVER  
USE_SERVER
```

を

```
SERVER 127.0.0.1 000000000000  
USE_SERVER  
USE_SERVER
```

- **C:\Windows\System32\drivers\etc\hosts** に移動し、
127.0.0.1 localhost を追加またはコメント解除。

Autodesk Material Library について

Autodesk Material library は、オートデスク製品の共有ライブラリで、ご使用のコンピュータにサイレント インストールされます。オートデスク製品のアプリケーションの 1 つが既にご使用のコンピュータにインストールされている場合は、これらのコンポーネントはインストール済みである可能性があります。このライブラリをアンインストールまたは削除すると、ライブラリはどの製品でも利用できなくなります。

Autodesk Moldflow 製品とともにサイレント インストールされる Autodesk Material Library には、次の 2 つのコンポーネントがあります。

- **Autodesk Material Library:** これは、色スタイルのリアリスティック外観に使用される材料の外観が含まれているライブラリです。このコンポーネントは既定でインストールされ、表示スタイルや色スタイルのすべての機能をを使用するために必要です。このコンポーネントは、このライブラリを必要とするすべてのオートデスク製品と一緒にアンインストールする場合を除き、アンインストールしないことをお勧めします。
- **Autodesk Material Library Base Resolution Image:** このコンポーネントは既定でインストールされ、Material Library の機能を使用するために必要です。このコンポーネントは、このライブラリを必要とする

すべてのオートデスク製品と一緒にアンインストールする場合を除き、アンインストールしないことをお勧めします。

Autodesk Material Library の既定のインストール場所は、共通のファイルフォルダで、変更できません。Autodesk Material Library をアンインストールまたは削除した場合は、次を実行して、表示スタイルと色スタイルの機能を再インストールおよび復元する必要があります。

インストーラ メディアで

\Support\ADSKMaterials\2012\CM\ProteinMaterials.msi を参照して実行します。

Autodesk Material Library Base Resolution Image Library をアンインストールまたは削除した場合は、次を実行して再インストールする必要があります。

インストーラ メディアで

\Support\ADSKMaterials\2012\ILB\BaseImageLibrary.msi を参照して実行します。